

令和7年度 社会福祉法人龍鳳 経営計画

法人の ○強み ●弱み

- 平均工賃2万円を超える就労B事業・生涯発達理論に基づいた支援や積極的権利擁護の実践など、他法人にはない誇れる先駆的な取組が多い。
- 肯定的に物事を捉える職員が多く、職場全体が明るい雰囲気である。
- 働きやすい職場づくりと人材育成に力を入れており、高い定着率を維持している。
- 各施設とも経年による修繕等も多く、環境面で高齢化重度化への対応が厳しい。
- 人事異動が少なく、組織面や支援面において硬直化や属人化が見られる。
- 経営層・運転手など一部の職種において人員不足が常態化している。

□法人本部 中・長期的な目標

【法人職員・施設の活性化】

- 継続した健康経営優良法人認定の取得、職員の健康維持促進
- ICT記録システムの活用と充実、施設の見守り等設備機器の導入促進
- 長く働き続けるための処遇改善の継続及び規則規程・制度の充実
- 法人内交換研修の定期的実施や計画的な人事異動による人的活性化を図る
- 社会福祉充実残額および社会福祉充実計画の適正化
- ハラスメント対策の充実（カスハラ・パワハラ・セクハラ）

【利用者サービスの質の向上】

- 龍鳳の強みを生かした中長期計画の策定及びそれに基づく計画的実行
- 質の高いサービス提供のための積極的かつ安定的な人材の確保
- 災害・感染症に関するBCP(事業継続計画)の見直しと、医療機関との連携強化
- 利用者本人主体の積極的権利擁護の推進
- 令和8年度より義務化される意思決定支援への適切な対応

【共生社会を目指す取り組み】

- 「SDGs」誰一人取り残さない龍鳳独自の取り組みを促進
- 地域共生社会の実現に向けたソーシャル・インクルージョンの推進
- 社会貢献事業への積極的参加及び独自事業の推進

□こぶし 中・長期的な目標

<スローガン>

「働きやすい職場・支援サービスの質・先駆的な権利擁護の取組で東京No.1を目指す」

- どんな個別のニーズにも応えられる施設（諦めない支援）
- 意思決定支援の確立
- 社会参加の機会拡充
 - ・氷川台自治会と連携体制の充実
 - ・利用者の地域生活者としての活動を提供
 - ・ボランティアの拡充
- 清瀬事業所の黒字化
- 毎日楽しく何でも言い合え、永く働き続けられる組織風土
- ライフステージに合わせた生活・活動・環境の実現
- ムリ/ムダの削減による適正な予算・支出管理
- 重度化高齢化に対応した支援体制
- 先駆的な権利擁護体制の確立
- 災害・感染症に強い施設の確立
- 第三者評価の実施（3年毎、その他利用者調査実施）
- 地域連携推進会議の設置

□たんぼ 中・長期的な目標

<スローガン>

「職員の輪を築き、地域とのつながりを深め、利用者ファーストを実現しよう」

- 利用者・家族・取引先・地域から選ばれる施設
 - ・利用者の生活が豊かになるための働く力、生活する力がつく仕組み作り
 - ・「できたが増える、成長できる」をキーワードにした支援提供
- 支援の在り方を考え続けられる組織
 - ・権利擁護と利用者アセスメント、支援スキルの向上
- 災害・感染症に対応できる組織体制
- 失敗を学びに変えチャレンジできる風土づくり
 - ・職員のアイディアを活かした組織運営
 - ・失敗を受け止め、助け合い解決する風土
- ムリ・ムダ・ムラの無い働きやすい職場
 - ・誰もが活躍できる人材になるための育成制度の仕組み作り
 - ・健康経営の観点をもった働き方の整備
 - ・ICTを活かした業務の仕組み作り
- 地域互助ネットワークの構築
 - ・地域の施設に取り込む仕組み作り
 - ・WIN-WINになれる関係構築

□基本理念

- 利用者の心と体をもっとも大切に考え、自立と社会参加を援助することを基本理念としています。
- 温もりのある心と未来を見通す広い視野をもって、利用者一人一人の持つ能力や才能を存分に発揮できるよう努めます。

★ 職員全員で めざす龍鳳は…

笑顔で支え合い、成長できる場所！

□法人本部 今年度の具体的な手だて(中心的取組)

【法人職員・施設の活性化】

- 職員の健康維持促進のための情報提供および取組実施
- 職員の業務負荷軽減・コミュニケーション活性化の為の新システム導入及びスムーズな運用体制の構築
- 実行可能な社会福祉充実計画策定（R8～5カ年分）
- NPO法人成年後見サービスやすらぎとの連携強化

【利用者サービスの質の向上】

- 法人横断組織及び全員参加による中長期計画策定
- 外部研修への積極的参加推進及び交換研修などの内部研修の充実
- 適正な建物設備等の資産維持及び計画的修繕の実施
- 虐待防止委員会の適正運営および事業所間連携の推進

【共生社会を目指す取り組み】

- 本部と各施設担当で連携したSDGsへの取り組み促進と広報周知
- 社会貢献事業の法人独自事業の検討及び実行

□ライフパートナーこぶし 今年度の具体的な手立て(中心的取組)

【法人職員・施設の活性化】

- 協力し合えるフラットな組織体制の確立
- BCPを中心とした災害等対策に対する職員全体への浸透
- 組織全体の業務効率化と生産性の向上

【利用者サービスの質の向上】

- 虐待について常に考え、学べる組織作り
- 意思決定支援に基づく支援方法の検討及び実践
- 清瀬事業所の業務体制の見直し及び整備

【共生社会を目指す取り組み】

- 地域社会との繋がりを重視した地域貢献活動の展開
- SDGs目標に向けた具体的積極的取組の発展的実践
- 地域連携推進会議の設置検討及び開かれた施設化

□たんぼ 今年度の具体的な手立て(中心的取組)

【法人職員・施設の活性化】

- 現場に活かす研修プログラムの構築と実践
- 業務量の調整と取捨選択、効果的で効率的な人員配置
- 情報共有と蓄積、情報取得しやすい環境整備

【利用者サービスの質の向上】

- 利用者のスキルアップに繋がるための作業・活動の提供と環境改善
- 利用者の権利が擁護されるための支援技術の向上
- 言動の背景に着目した支援の実践とものの見方の向上
- （BCP）非常時に迅速な初動対応ができるための視点の共有と実践

【共生社会を目指す取り組み】

- 地域を施設に取り込む仕組み作り
- 地域と利用者・支援者をつなげる取り組み
- 地域ニーズを掘り起こすための取り組み

□法人本部 今年度の評価の努力指標（○）と成果指標（●：評価基準A）

- 業務効率向上・情報取得と蓄積、共有がなされる仕組みの整備 ●新情報共有システムの運用とチェック
- 法人開設30周年（2030年）までの中長期計画及び次期社会福祉充実計画の策定
- キャリアアップできる研修制度の整備 ●職能基準に合わせた研修カリキュラムの土台作り
- 法人が目指す権利擁護のビジョン作り ●法人内共通の利用者の権利擁護に関する考え方の検討
- 施設と連携した社会貢献事業の体制作り ●社会貢献活動の具体的行動目標の設定と取り組み実施

□ライフパートナーこぶし 今年度の評価の努力指標（○）と成果指標（●：評価基準A）

【法人職員・施設の活性化】

☆協力し合えるフラットな組織体制の確立

- 支援者、事務員等、職種関係なく協力できる職場風土の醸成
- 職種間の交換研修を実施し、お互いの業務の理解を深める
- ☆BCPを中心とした災害等対策に対する職員全体への浸透
- BCPの目的を理解する訓練や災害に備えた準備の遂行

●BCP発生時に対応できる組織体制

☆組織全体の業務効率化と生産性の向上

- 属人化業務の減少と、適正な業務分担を実現し業務時短を達成
- 単独担当業務の洗い出しとマニュアルの完備で業務遅滞の減少

【利用者サービスの質の向上】

☆虐待について常に考え、学べる組織作り

- 組織全体で、虐待について常に考えられる環境作り
- 虐待を学ぶための外部研修や、こぶし内で研修の取り組みを実施

☆意思決定支援に基づく支援方法の検討及び実践

- 意思決定支援の目的と観点の共有を図る
- 支援における意思決定プロセスの明文化、プロセスに基づいた支援と記録入力の実施

☆清瀬事業所の業務体制の見直し及び整備

- ムリ・ムダ・ムラのない業務体制作り
- 業務スケジュールの見直し・整備／マニュアル化／情報共有のための記録システム活用

【共生社会を目指す取り組み】

☆地域社会との繋がりを重視した地域貢献活動の展開

- 地域活動を通して、こぶしの利用者が地域の方から、顔と名前を覚えてもらう
- こぶし内の活動や地域でのイベントに参加し、地域交流を積極的に行う
- ☆SDGs目標に向けた具体的積極的取組の発展的実践
- 地域との関係性強化に向け、こぶしを主体とした新規の地域交流活動の実施
- 地域団体の発表や展示、地域防災拠点、集いの場として利用してもらう仕掛け作り
- ☆地域連携推進会議の設置検討及び開かれた施設化
- 地域連携推進会議の設置基準となる土台作り ●施設や利用者に関わる地域連携の整備

□たんぼ 今年度の評価の努力指標（○）と成果指標（●：評価基準A）

【法人職員・施設の活性化】

☆現場に活かす研修プログラムの構築と実践

- 効果的なOJTの仕組みの構築 ●(研・労務)業務マニュアルとトレーニング内容の可視化
- ☆業務量の調整と取捨選択、効果的で効率的な人員配置
- ムリ・ムダ・ムラを無くすための業務内容の精査
- (研・労)業務マニュアルとトレーニング内容の可視化
- (課長)業務整理表を活用した業務の棚卸 ・適正な業務量(業務の取捨選択)の見直しと分担

☆情報共有と蓄積、情報取得しやすい環境整備

- 施設の情報を取得しやすく、蓄積できるための土台作り ●(就・生・労)記録閲覧および入力時間の確保 評価と改善
- 【利用者サービスの質の向上】

☆利用者のスキルアップに繋がるための作業・活動の提供と環境改善

- (就)利用者にとってわかりやすく、取り組みやすい環境構成（作業・休憩・予定）
- (就)作業室の構造化ー①作業用品の整頓および準備・片付けの徹底 ②自主作業の工程分解とスキルチェック表の作成
- (生)利用者のスキル向上のためのプログラム策定と実施
- (生)活動のねらいと展開の見直しー①発達に応じた活動構成 ②プログラム手順書の作成

☆利用者の権利が擁護されるための支援技術の向上 ☆言動の背景に着目した支援の実践とものの見方の向上

- 意思決定支援実践のための土台作り ○言動の背景に着目した支援の実践とものの見方の向上
- (研) 意思決定支援のプロセス明文化 検討会議の実施／背景に着目できるための研修 ・肯定語研修の実施

☆（BCP）非常時に迅速な初動対応ができるための視点の共有と実践

- BCP発動時の初動対応 職員への浸透
- (業・施)情報が取得しやすいBCPマニュアルの整備／マニュアルに基づいた研修と訓練の実施
- 【共生社会を目指す取り組み】

☆地域を施設に取り込む仕組みづくり

- 地域住民が施設に入りやすい仕掛け作り ●(地域・就・生)地域住民が施設に入りやすくなるイベント企画

☆地域と利用者・支援者をつなげる取り組み

- 施設を知って貰う取り組みの構築
- (地域)施設の取り組みや活動内容に関心に向けて貰う仕掛けの実施●(就)商品販売時の工夫・製作者の見える化と定着
- ☆地域のニーズを掘り起こすための取り組み
- 地域のニーズをキャッチできる関係作りの構築 ●(地域)地域住民、関係機関の生の声を聴く取り組みの実施